

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年10月下旬から11月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年7月下旬から8月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示しているのをご参照ください。		一般家庭のレベルでは、全体としてまだ経済状況が好転しているとはいえない。生活に密着している消費支出が鈍化している。インバウンド消費の増加も大都市圏が中心であり地方への波及は非常に限定的である。また同一県内においても都市部と地方都市との経済的な格差が膨らんでいる。
「経済・財政一体改革」に向けた取組			
2	改革工程表・KPIに関する検討状況や上記の議論に関し、特に加速・強化すべき取組について、財政健全化や経済成長への貢献といった観点や、現場・地域の視点などに照らしてお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	-	<p>1. 財政健全化の観点から、ヘルスケアポイント等個人の予防・健康づくりに対するインセンティブ付与の概念を、さらに地域の他者も対象とする仕組みに広げる。すなわち個人が自己の介護予防・健康づくりのみならず、地域(たとえば同一市町村内)において他者の介護・生活支援を地域ボランティア活動として行った場合あるいは行う地域活動グループ・団体に何らかのインセンティブを与える。地域活動に参加することで本人の介護予防・健康づくりがさらに促進され、また他者及び地域とつながることで孤立防止にもつながる効果が大きく、結果として大きな財政の節減となる。</p> <p>2. 経済成長への貢献の観点から、多様な働き方、中間的就労、非営利活動による社会参加等新たな基盤を構築し、これまで就業できていない層を積極的に取り込む。特にアメリカですで行われている子育て支援をはじめ地域のサービスを支えるスタイペンド(謝礼)システムの推進。学生も障害者も高齢者も自らの意思と能力に応じて様々な参加が可能であり、当人のいきがいはもちろん新たな経済活力につながる。一億総活躍社会を謳うのであればまさに今求められている仕組みである。</p>